

# 牟呂城



別名：鵜殿兵庫之城。  
永正年間(1504~1521年)、今川氏に従う鵜殿氏が築いたとされ、天文年間には鵜殿兵庫が居城した。鵜殿氏は三重県熊野新宮からやって来て蒲郡に上ノ郷城を築城して繁栄し、牟呂城はその支城として築かれたと云われる。  
☆☆☆ 行きやすい城跡／豊橋駅より港方面に向い、牟呂町の信号を右折しJAのスタンドの裏手にあり、鳥居が目印。豊橋市牟呂公文町12

# 大崎城



永正16年(1518)に田原城主戸田宣成が今橋城(吉田城)に備えて築いた城と云われ、戸田氏が徳川家康に従って関東に移り廃城となった。慶長6年(1601)に旗本の中島重好が再整備し、陣屋として幕末まで存続したと云われる。  
★☆☆ 龍源院そばの城跡  
大崎街道を南下して大崎橋を渡り、しばらく進むと龍源院のお葉付公孫樹が見ることができ、ここから北側が城跡。豊橋市船渡町城戸中

# 豊橋の6城めぐらん♪

# 吉田城



豊橋市今橋町3(吉田城)

吉田城の歴史は、永正2年(1505)、牧野古白により今橋城が築かれ、戦国時代は激しい攻防が繰り返されるなか、名称も吉田城と改められました。鉄櫓や石垣が往時を偲ばせています。



参考文献：豊橋の史跡と文化財 他 ☆は編集者の感じた行き易さを表しています。

# 二連木城



豊橋市仁連木町136 (現：大口公園)

二連木城は、明応2(1493)年田原城主戸田宗光によって築かれた城で、戦国紛争の中にあつて波乱の変遷をたどったが、天正18(1590)年、城主戸田康長が徳川家康に従って関東に移り廃城となった。昭和36年に大口公園となる。  
☆☆☆ 行きやすい城跡／公園部分が本丸跡、本丸周辺に空堀や土塁の一部が残る。



# 月ヶ谷城



五本松城を本拠とする豪族西郷氏の支城で、1520~1530年頃の築城とされ、永禄5年(1562年)、今川勢によって五本松城とともに落城。西郷氏の菩提寺はここより東にある正宗寺。山頂には曲輪、土塁、井戸跡が残り石積みも見られます。

★★★★ 山頂にある城跡  
国道362号の嵩山市場バス停から天神川に沿って500m程北上。道が狭くなる数m手前、右側の木製の橋より山頂へ。豊橋市嵩山町



普門寺▲

築城は明応(1492~1501)年間の初め頃とされ、三河と遠江の国境にある「境目の城」。この城は監視施設の役割を担ったため、軍事上重要な場所として攻められ、その際に普門寺も全山全焼の憂き目にあっている。典型的な二城一郭構造。

★★★★ 山頂にある城跡  
普門寺の左手より登山道へ入る、途中に年中涸れないと言われる「元堂址の池」を見ながらさらに山頂を目指す。豊橋市雲谷町

# 船形山城

